

取組事例発表

町内小学校4校に環境学習を実施

～ごみを出す側から処理する側になって考えてみる～

株式会社富士クリーン(所在地：香川県綾川町 代表取締役：馬場 太一郎)は、2024年9月6日から9月30日にかけて地元綾川町の小学校4校に学校別で環境学習を実施しました。ごみを出す前の分別のルールからごみ収集車を使っての実演や当社施設を見学しながらリサイクル・処理・処分方法などを学んでいただきました。

■ 綾川町内の小学校4校の4年生中心に実施

環境学習を行った綾川町の小学校は綾上小学校、陶小学校、滝宮小学校、羽床小学校の4校になります。室内（学校の教室か当社の大会議室）で行う環境授業は4校共に共通の内容で、一部当社施設の見学も併せて行いました。学習を受けた学年ですが4年生に実施しました。環境学習の授業はプロジェクター又はモニターを使用して出来るだけイメージし易い形式で行いました。更に前に映し出されたものと同じ内容のレジュメも各生徒に配りました。そのレジュメにはメモや質問の回答などを書き込めるように記入欄を設け、授業に参加してもらえる工夫もしました。尚、9月度は4校に行いましたが、町内のそれ以外の小学校もこれから行う予定です。



■ 環境学習の授業内容1（ごみの分別について）



授業内容は最初に綾川町のごみ分別のルールから入りました。綾川町においては大きく分けて6つの分別種類があります。どのごみがどの種類に分けられるか考えてもらい、挙手で発表してもらいます。ごみの分別は大人でも間違いやすいですが、授業では生徒は多く正解していました。

それから分別したごみはそれぞれ種類別に資源ごみは何に再生されるのか、可燃ごみは焼却し埋立てするかメタン発酵してエネルギーにリサイクル出来ることなどを説明しました。リサイクルするためには、正しく分別することが大事であることが分かってもらえたと思います。尚、ごみの分別については各市町村によってルールが変わってきますので各自治体のホームページ等で確認することが必要です。

本件に関するお問合せ先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com

■ 環境学習の授業内容 2（私たち処理業者が困っていること）

次に私たちごみを回収・処理を行う業者がどのようなことで困っているか考えてもらいました。特に回収後リサイクルに出される食品容器などの資源ごみは、中身が入ったまま出されると悪臭の原因となり更にリサイクルが出来なくなります。それから今問題になっ



ているモバイルバッテリーは、そのまま燃えるごみなどに入れられるとショート（短絡）して爆発することがあります。実際これが原因でゴミ収集車が火災を起こした事例があります。この様な私たち処理業者が困っていることを説明しながら、家の人にも伝えてあげて下さいと併せてお願いしました。尚、現在リチウムイオンなどのモバイルバッテリーの回収できる場所は家電量販店やホームセンターなどです。回収場所はホームページ等で事前に確認する必要があります。

■ 環境学習の状況



室内での授業は一時的な説明だけではその内容に興味を示さない児童が出てきます。今回の環境学習では授業の要所にクイズや動画を入れて興味を引く工夫をしました。クイズでは「答えさせて！」と手を挙げて発表がしたい積極的な児童がどの学校でも多く見られました。授業の最後には以前のニュー

ースレターでも紹介させていただきました「富士クリーン学習帳」を各クラス全員にプレゼントしました。また屋外での施設見学では、集団での移動時は通行する車両等に特に注意が必要です。その対策として監視員を置き、車両整理などを行い安全に配慮しました。児童の皆様や先生がたの協力もあり施設見学は何事もなく無事に終了しました。

■ 環境学習が終了しての感想

今回の環境学習はごみの分別がどれだけ重要かを理解してもらうことに重点を置きました。ごみの分別は回収後のリサイクルなどの方法を知ることによって理解が深まります。児童みんなに理解してもらうため、専門用語は使わないでできる限り楽しく、解りやすい説明に努めました。結果として、どのクラスの授業風景でも終始なごやかな雰囲気で行われていました。この環境学習がきっかけで、私たちの仕事に少しでも興味を持った人が増えればうれしく思います。年間を通しての授業の計画がある中、予定を追加して実施させていただきましたので調整が難しかったと思います。その中での各学校の皆様のご尽力には大変感謝いたします。今後も富士クリーンでは環境学習の活動を通して循環型社会の構築に資するよう邁進してまいります。

本件に関するお問合せ先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com